



学校だより

平成27年 7月10日 No. 10

教育目標

- か 考える子ども
- が がんばる子ども
- や やさしい子ども
- け 元気な子ども

こたき

☎ 92-4013
FAX 92-4019

いわき市立小名浜西小学校長 高木清美

お互いを大切に、思いやりのある子をめざして

今、いじめの問題がメディアで大きく取り上げられています。いじめにより尊い命が奪われたことに衝撃を受けました。保護者の皆様も心配をされていることと思います。

友だちとの関わり合いで生活している学校では、子ども同士の様々なトラブルが起こります。相手の気持ちが分からない、自分の気持ちが伝わらないことで、つい悪口になったり、意地悪になったりしてしまうのです。時として、一对多数になってしまう場面も実際に起こります。多くは、些細な気持ちの行き違いが原因です。

本校では、「いじめがいつ起こっても不思議ではない。いじめは、許さない。」を合い言葉に、子どもたちの人間関係に細心の注意を払っています。アンテナを高くし、いじめにつながる些細なトラブルを注意して見ていかななくてはなりません。そのために、毎月の会議の中で教師同士が話し合う場を設け、全員で問題を共有し対応するようにしています。さらに、学校では、すべての教育活動を通して、思いやりの心を育み、互いを大切にするを学ばせるように努めています。また、困りごと調べや普段の観察からいち早く事実を把握し、その解決を図るように努めています。

しかし、いじめは、教師が注意深く観察していても分からない場合があります。そこで、保護者の方に

お願いです。お子様のことで、何か気になることがありましたら、ぜひ担任へ相談していただきたいと思ひます。いじめは、いじめられる子どもがいるから発生します。いじめられる子どもをつくらないためにも、まわりの大人が情報を共有し、学校と家庭・地域が一体となって未然防止を図っていきたく思ひます。ご理解とご協力をよろしくお願ひします。

「思いやりのある子」を育てることは、本校の教育目標の一つです。相手の立場や気持ちを考えた言動ができる「やさしい子ども」をめざしています。あくまで自己評価ですが、1学期末の調査で本校の児童の95.7%は、「友だちと仲良くし、助け合って生活している」と回答しています。また、「進んであいさつし、言葉遣いに気をつけて話しているか」の質問には、「よくあてはまる」と「あてはまる」を合わせると93.6%の子どもが肯定的に評価しています。一見なかなかいい結果に見えますが、反面、これらの質問に否定的に答えた子どもが、それぞれ4.2%、6.4%いることとなります。自分で自分自身のことを素直で優しい言動ができないと思っている子どもが確実にいることとなります。(否定的に答えた子どもが、いじめをしていると言うことではありません。むしろ内省のできる子どもなのかも知れません。)

前にも書きましたが、いじめは、いじめられる子どもがいるから発生します。しかし、これまでのいじめの事案では、いじめた側は「いじめてやろう」としていじめているケースは少ないのです。「ふざけのつもりだった」「遊びのつもりだった」という気持ちでいることが多いのです。いじめた側にいじめている意識がないのですから、「いじめてはいけません」と言った注意や「いじめていましたね」と問うても、「いじめてなんかいませんよ」と反応されてしまいます。いじめには、そこに大きな問題があるのです。いじめられた側の身になって対応することが求められているのはそのためです。

子どもに「友だちをいじめてはいけないよ」「いじめなんてしてないよね」と話してもほとんど意味のないことです。「友だちをからかったり、悪口を言ったりしてはいけないよ」「仲間外れにしたりしてはいかないか?」「友だちをたたいたり、けったりしてはいけないよ」と具体的に話してあげる必要があります。「うちの子に比べて友だちをいじめるとなんて・・・」と後で困らないためにも、我が子を「いじめっ子」にしないよう、普段の生活から思いやりの心を育てるようにしてたいものです。

いじめの防止、早期発見、早期対応などができるように、学校と家庭(保護者)が情報を共有し連携を図っていく努力を一層進めていきたいです。ご理解とご協力をお願いします。

♪ささのほ さらさら♪ 七夕集会

7月7日は、七夕でした。本校でも、児童会主催の七夕集会が開かれました。「♪ささのほ さらさら～」と七夕の歌を全校で歌い会がスタート。



クラスの代表児童がそれぞれの願い事を発表しました。その後、代表児童が演じた七夕の伝説の寸劇を観たり、全校生でクイズに挑戦したりしました。全校生みんな楽しんで時間を過ごすことができました。古くから伝わる伝統的な行事を大事にする心をもたせたいですね。



ミュージカルに挑戦



9月に本校で行われる文化芸術による子ども育成事業(文科省)で、劇団ポプラの皆さんによるミュージカル劇「オズの魔法使い」を上演することになりました。

この劇には、児童代表27名も参加して演じることになっています。今回、その練習のために、団員の方が指導においでくださいました。

7月6日(月)2時間たっぷり稽古をつけてくれました。子どもたちは、最初は緊張した様子でしたが、次第に団員の方の熱の入った指導に引き込まれ、一生懸命歌い、振り付けを覚えることができました。

本番が楽しみです。

